

2015風土記の丘「もろこしフェア」を開催

風土記の丘農産物直売所(一般社団法人中道農産物加工直売組合)では、6月14日に毎年恒例となっている「もろこしフェア」を開催した。昨年11月に「甲府市中道交流センター」の一部として規模を拡大してリニューアルオープンされてから初めての



開会前から受付は長い行列となった

開催となった今回のフェアでは、特産のとうもろこし「きみひめ」の試食と販売を中心に、焼きもろこしや夏季限定のもろこしアイスクリームの販売、もろこしの収穫体験など、盛りだくさんの催しが準備され、例年以上に多くの来場者が訪れ盛況となった。

中道特産のとうもろこし「きみひめ」は、とても甘く果皮が柔らかいため、生でも食べられることから人気も高い。この日も開会の1時間以上前から長い列ができ、用意された約2万本の「きみひめ」は午前中には完売となった。

組合では、今年の夏がリニューアルオープンされた直売所の初めての本格的な繁忙期となることから、品不足の解消、品揃えの充実などの想定される課題に取り組んでいくため、生産研究会の活動を通じて、農産物の計画的栽培を実現するための対策を検討するとともに、直売所のオリジナルブランド野

菜の取り組みも進めている。

また組合では、「甲府市中道交流センター」

の指定管理者にもなったことから、甲府市における安全・安心・新鮮な農産物等の消費者への提供、生産と消費が一体化した産地づくりといった役割を果たすことが求められている。そこで、本年度より甲府市の野菜ソムリエプロジェクトと連携しながら、これまでのノウハウと地元農産物を活かした斬新な食べ方の提案を行うなど新しい消費者へのPRと集客策に取り組み、直売所への来店者へのサービス向上を目指していく。

